



本校教育目標：【自主】自ら進んで学ぶ生徒 【寛容】明朗で思いやりのある生徒 【挑戦】健康でたくましい生徒  
**〈重点目標〉自ら考え、判断し、目標に向かって実践する生徒 ～夢の実現～**

# 原町三中だより

令和4年12月16日(金)  
 第34号  
 発行責任者  
 校長 志賀 嘉津美  
 電話 22-3802

## 特別授業 雅楽の世界と柔道

12月14日(水)、特別非常勤講師として男山八幡神社宮司の西様(南相馬こどもの翼代表)を講師にお招きし、3年生を対象に雅楽の授業を行いました。前半は、雅楽の歴史や楽器について学習し、笙(しょう)などの吹物(管楽器)を使った「越天楽」の演奏を鑑賞しました。天から差し込む光のような笙の音色が特に印象的でした。後半は、楽太鼓などの3種類の打ち物(打楽器)を使い、実際に音を出したり、龍笛(竹製の横笛)に合わせながら演奏を行ったりしました。



指揮者のいない雅楽では、管楽器と弦楽器の奏者は打楽器の音に合わせて演奏します。打楽器に合わせると良い演奏になることから、「打ち合わせ」という言葉ができたということなど、雅楽が由来となる言葉についてもお話をいただきました。平安時代から千年以上もの時を経て、今日まで伝えられてきた日本の代表的な伝統音楽「雅楽」について学習できた2時間でした。

また、先日は三上様を特別非常勤講師にお招きし、柔道の授業を行いました。各学年2時間ずつ、柔道着の着方や帯の締め方に始まり、受け身や組み方などの基本動作や簡単な攻め方や返し方などを教えていただきました。特に、受け身は自分の身体を守るためにしっかり体得しなければならない柔道の基本ですので、時間をかけてご指導をいただきました。また、「礼で始まり礼で終わる」相手に対して尊敬の心をあらわす礼法についても、柔道の時間を通してしっかりと身に付けることができました。



**食育集会 なぜ、バランスのとれた食事が必要なのか** 12月15日(木)、全校生を対象に「食育集会」を実施しました。今年度も講師には原町第一中学校の管理栄養士の畠山先生をお招きし、「筋力アップにつながるアスリートメニューについて」をテーマに、バランスのとれた食事の必要性や成長期に必要な食事の摂り方などについて講話をいただきました。

筋肉を増やすには、たんぱく質をたくさん摂りさえすればよいのではないこと、体をつくったり、運動に使ったりするエネルギーの必要量に見合う栄養を食事からとることの大切さ、そして、夕食以降は食べ物を体に入れない方がリラックス効果が高まることなど、生徒の皆さんにとって興味深く参考になるお話をいただきました。

講話の後、生徒を代表して保健委員長の佐藤 恋さん(3年)が「食生活を見直す良い機会となりました。バランスのとれた食事を心がけ健康で明るい学校生活を送っていきたいと思います。本日はありがとうございました。」とお礼のことばを述べました。



**赤い羽根共同募金** 12月15日(木)～16日(金)に、生徒会が中心となって「赤い羽根共同募金」を行いました。「赤い羽根共同募金」は、地域歳末助け合いとも言われ、自分たちの住む地域の福祉活動に役立てられます。寒さに負けず、生徒会のメンバーは呼びかけを行っていました。



(裏面に続く)

## 自転車も自動車も余裕をもって安全運転を

「年末年始の交通事故防止県民総ぐるみ運動」が

12月10日から1月7日まで実施されています。本校でも、昇降口にポスターや総ぐるみ運動の重点穴埋め式にして掲示し、自転車の安全運転や交通事故防止を呼びかけています。寒さが厳しくなるにつれ、自宅を出発する時間が少しずつ遅くなってしまいう生徒もいるのではないのでしょうか。また、校舎東側の交差点を通過する車のスピードも夏や秋に比べると速くなってきているように感じます。自転車も自動車も安全運転が第一です。時間と心に余裕を持って、安全に通勤・通学ができるようにしたいものです。



## 入賞 人権作文コンテスト 表彰式

人権作文コンテストは、次世代を担う中学生が人権問題について作文を書くことによって、人権尊重の重要性と必要性について理解を深めるとともに豊かな人権感覚を身に付けることを目的として実施しているものです。また、入賞作品を周知広報することで広く一般に人権思想を根付かせることもねらいの一つです。

今回、本校の生徒5名が『相馬支局長・協議会長奨励賞』を受賞し、12月15日(木)に校長室で表彰式が行われました。表彰式では、福島地方法務局相馬支局長の鈴木様と相馬人権擁護委員協議会の高田様より、賞状と記念品が授与されました。また、本校から多数の生徒の作文が出品された事に対し、学校として『学校奨励賞』をいただくことができました。

受賞した5名の生徒と作文の題名は以下の通りです。

田仲さん(3年):「女性なんだから」はもういらぬ  
渡邊さん(3年):「個性」のパレット  
村田さん(2年):国や言葉が違っても  
末永さん(1年):「やっちはいけない一線」とは  
渡部さん(1年):相手が傷つくその前に



## 入賞 ふくしまを十七字で奏でよう絆ふれあい支援事業

この事業は、子どもたちが、学校や家庭、地域の人との体験活動等の中で感じた思いや願いを、五・七・五の17音で表現することを通して、子どもたちの豊かな心を育てるとともに、人と人との絆を深めることをねらいとしています。

本年度の応募数は、県内外で42,635組、相双地区では6,404組でした。県入賞は全部で40組、相双地区は4組で、そのうちの1組に村田さん(2年生)が高校生のお兄さんとの作品で「絆部門」で佳作に入賞しました。表彰式は、12月14日(水)南相馬市合庁舎で行われました。

佳作 村田さん(2年)

色白な 兄の腕見て 嫉妬する

日焼け肌 努力の証 気にするな

※本人とお兄さんの作品

## 福島県造形秀作審査会

絵画の部 特選 杉さん(3年)、宮寺さん(1年)  
デザインの部 特選 新川さん(2年)、岩本さん(1年)

## 相馬地区造形秀作審査会

絵画の部 入選 郡さん(3年)、齊藤さん(3年)  
吉田さん(3年)、大久さん(1年)  
デザインの部 入選 佐藤さん(2年)、三瓶さん(2年)

## 第86回相双バドミントン大会 11月27日(日)

女子2部ダブルス 第3位 岡田さん(2年)・佐藤さん(2年)  
女子3部シングルス 第3位 渡部さん(1年)  
女子3部ダブルス 第3位 木村さん(1年)・後藤さん(1年)

## 相馬市ソフトテニス納会大会 12月4日(日)

中学1年女子の部 第3位 末永さん(1年)・宮寺さん(1年)

## 学校評価

### ありがとうございました

保護者の皆様には、お忙しい中、学校評価をご入力いただきましたこと感謝申し上げます。集計した内容については学校評議員の皆様にご確認いただき、ご意見等を集約したた後、その内容を踏まえ1月の「学校だより」にて概要をお知らせいたします。